

グリーン

No.216

みどりのネットワーク通信

令和6年4・5月号

Spring Festa

一人一花 スプリングフェス

福博の街を彩る

去る4月6日から14日まで、一人一花運動の春の祭典「一人一花スプリングフェス2024」が開催されました。
期間中は博多駅から天神をつなぐルートにカラフルな花々が咲き誇り、福岡のまちを彩りました。
メイン会場となる福岡市役所西側ふれあい広場では、ガーデニングコンテスト、花壇コンテストが開催され、たくさんの緑のコーディネーター、花づくり活動団体の皆さんが参加されました。



ガーデニングコンテスト



泉東町内会ひょうたん池
花壇愛護同好会



花*花*HANA



田隈中公園コミュニティパーク
花壇サークル



マタケ造景株式会社



チーム地球のこども舎

優秀賞

市民
投票賞



「Welcome to Flower City FUKUOKA！」

福岡花いっぱいプロジェクト

福岡市をたくさんの花で溢れるまちにしたい。そんな想いを込めた花壇です。

植栽、オブジェ、スタンドグラス、小物等、メンバー各々の力を合わせチーム一丸となって作りました。

この度は優秀賞のみならず市民投票賞も頂き、大変嬉しく思います。

これからも一人一花運動の輪を広げていきます！

福岡花いっぱいプロジェクト
木村愛さん



緑のレポート



春の愛宕山を訪ねて

緑のコーディネーター 高井カホルさん

報告

愛宕の森を守る会 令和6年3月24日(日) 9:00～12:00 参加者7名

この日は朝から雨で中止になりましたが、数人の参加者があり店の軒下で山崎先生が愛宕の説明を資料を元に話されました。

雨が降る中、鷲尾城址へ登りました。ツクシヤマザクラがきれいに咲いていました。昨年10月に植樹した小さい苗が葉芽を出していて「よく育ったね」と声を掛けました。フデリンドウが咲いている頃なのでみんなで捜してみると数本ありましたが、雨でつぼみでした。天気良ければ咲いていたでしょう。

マンション建設が始まる前にと会の方は植物を鷲尾城址に移植し、ここで新しい芽を出しています。愛宕神社西側車道方向へ移動する頃には雨もやみました。

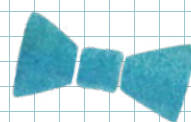
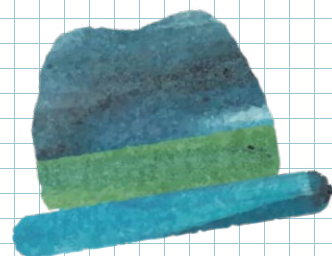
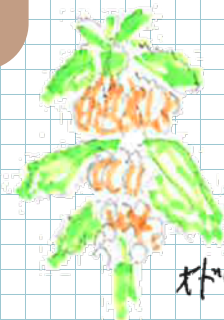
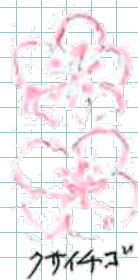
大きなクスノキにイタビが貼りついている。それが木の枝のように網目状になった所に鳥が運んだのかビワの新しい木が育っています。ガード下の桜もよく整備され明るくなり元々あった植物も芽出し中です。たくさんの植物、これに集まる虫、蝶々、鳥、樹木の説明で雨の中楽しい観察会でした。

これからに向かってたくさんの植物が準備しています。

今花が咲いているクサイチゴ、オドリコンソウ、ムラサキケマン、(花の蜜を吸う体験もしました) 樹木ではツクシヤマザクラ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、イワガネ(つぼみ)、実はナワシログミ、ビワ、ワラビも出ていました。

愛宕山の樹木

- トベラ●エノキ●クスノキ
- オガタマノキ
- カラスザンショウ
- ナワシロイチゴ
- クスノキ●ビワ●イタビ



バイカオウレンと 出会う 列車の旅



昨年の夏、花好き3人で高知へ行き(飛行機50分ひとっ飛び)高知県立牧野植物園、モネの庭などを観て回った。その時に葉が茂ったバイカオウレンと出会い「またバイカオウレンの花が咲く景色を見てみたい!」と思いつき、今年は早春の高知へと出かけた。今回は、博多から新幹線で岡山行き、岡山から南風号に乗り換え、博多を出発してから4時間30分の列車ひとり旅。福岡を立つ前日、土佐加茂の集落活動センターにバイカオウレンの開花状況を問い合わせると今年は暖冬の影響もあり「バイカオウレンの開花が早くて、今は終わりを迎えています」・・・と。でも、一目咲いたバイカオウレンを見たい。高知駅前のホテルで一泊して、翌朝高知駅から土佐加茂(在来線50分)バイカオウレンの群生地へ。集落活動センターで受付を済ませ山道を20分程登ると、森林内にバイカオウレンの群生地が広がっていた。

しかし、ほぼバイカオウレンは、咲き終わっていました。(涙)(涙)咲き終わった群生地にガツクリしていると、偶然、佐川町集落支援員・加茂地区の方と出会い「今年は暖冬で開花が早くなり、前日の雨でも花びらが散ってしまつて・・・。来年はバイカオウレンの状態を確認してまた来てください」と名刺をいただきました。バイカオウレン群生地横の苔庭を見て下山することに。気を取り直して、次のバイカオウレン開花場所へ。土佐加茂駅から牧野富太郎先生の生誕地 佐川町(電車で8分)へ。牧野公園の丘の上にある牧野先生のお墓にお参りをして後方へ進むと、そこにバイカオウレンの花が咲く群生地が・・・。目の前に広がっていました。想像していたよりもバイカオウレンの花は小さくて、可憐で、指先1.5cm程の花に一瞬で魅せられました。思わずしがみこみ、小さなバイカオウレンを眺めたり、そっと花に触れてみたり。自然公園の中に咲く、バイカオウレンの花を愛でながら、幼少期の牧野富太郎少年に出会えたようで素晴らしい高知の旅でした。

来年は、バイカオウレンの群生地土佐加茂に開花状況を確認して出かけよう!



今年も 花壇巡り ウォーキング Let's Go!!

主催 七隈公民館

城南区七隈校区

毎年この時期に七隈校区で花づくりをしている8団体の花壇を巡るウォーキングが実施されます。今年は桜の満開の時期と相まって、皆さんが手塩にかけた花壇の花達が色とりどりの花を咲かせ私達を迎えてくれました。

報告

エコ・ガーデンと愉快的仲間たち
西田正光さん



夫々の花壇の特徴や珍しい花の名前を聞き、スマホで花の名前を確認しながら、写真に収めます。中にはメモを取りはじめ、さながら講習会が始まり、足の歩みが前に進みません。



朝10時に七隈公民館を出発して、途中集会所で休憩し、最終の花壇では、お昼をとくに過ぎました。体力を考慮し、途中から参加する人、早めに抜ける人を含め総勢30名程で、今年もワイワイガヤガヤで楽しく巡りました。



おもてなし花壇スポンサー
後藤謙治さん



心はっこり！

椿の花と 琴と尺八の コラボ

大分農業文化公園
(大分県杵築市山香町)

今冬は異常気象続きで、弥生3月は寒暖差が激しい日々が多く高齢者の私の体にはこたえました。
減った気持ちを癒したいと思い、大分県杵築市山香町の大分農業文化公園、愛称「るるパーク」で開催中の「椿まつり」の鑑賞に車を駆って出掛けました。

訪園日は屋内つばき園で「椿と花とともに聴く琴と尺八の調べ」*の催しが初めてあり、ラッキー♪
古来から親しまれてきた日本原産の椿を愛でながら日本の伝統和楽器、琴と尺八が奏でる美しい日本の楽曲を楽しみました。

*共催「生田流箏曲日本当道会」



日本の楽曲を演奏する
生田流箏曲日本当道会



「屋内つばき園」では、約
100 品種 100 本の椿を
楽しめる

爺川柳

花つ月
椿のつばは
夢見草

素適な雰囲気醸し出す音色やメロディーとは？

大濠公園ガーデニングクラブ 代表 花栗美百合さん

花たちは実際に育てていながらそれぞれの特徴や性質を植物から学び、デザインを試みていきます。
花壇の素敵なメロディを作っていくためにはエネルギーをかけたほど見事な結果が訪れることでしょう。

花壇のデザイン

前回は植物の管理・植物の健全育成を述べましたが、的確な知識に基づいた植物選択や管理をすることにより植物が生き生きとした美しさを保ち、本来の健全な育成をしていき素敵な音色を醸し出すことでしょう。

また花壇のメロディが美しいと感じられる要素として、周辺環境と花壇のボリュームやバランスの一体感があるかを確認します。

花壇の縦・横・高さのサイズ、ボリュームが周辺の景色とのスケールとバランスが取れているかが大切で、植えた時だけではなく、それぞれの植物の成長した将来の姿を確認して植物を選択します。

ディテールとしては葉や花の大きさ、色、形、数、隣同士との相性やそれぞれのボリューム、季節の移り変わりの仕方（1つの花が終わった後には何の花が代わるのかなど）などが、コンセプトに合うようなものを選択していきます。

大濠公園の場合、池と広々とした樹木のある空間が広がっています。そこでその広い空間には、高さのある花壇が必要と考え、県で許可されているぎりぎりまで高く（50cm）することにしました。

コンセプトはおしゃれできちんとした花壇

大濠公園ガーデニングクラブ全体の花壇のコンセプトは「おしゃれできちんとした花壇」ということは決めています。さらに5カ所ある各花壇のそれぞれの詳細なコンセプトを決めました。以下の通りです。

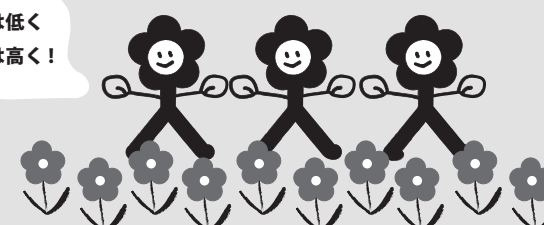
- 5つの花壇の
コンセプト
- Ⓐ 「風の花壇」
 - Ⓑ 「モダン花壇」
 - Ⓒ 「オアシス花壇」
 - Ⓓ 「ビビッド花壇」
 - Ⓔ 「ナチュラル花壇」

どの花壇でも見る人に、植物の生き生きとした美しさとコンセプトが合いまって素敵な雰囲気を作り出すことを目標にしています。

どこから見るのか（成長した時の姿の確認）

以前にも述べさせていただきましたが、この花壇は、人々が360度周辺から花壇を見ることが出来るので、すべての植物が見やすいように手前が低く、中心が高くなるように植物の丈を考えます。

手前は低く
中心は高く！



コンセプトに合致する植物の選択

先ず花壇の構成を考えます。

大濠公園ガーデニングクラブの植物は、ベースグリーン、ベースフラワー、サイドフラワー、グランドカバーの4種で構成されています。

ベースグリーン（常緑低木、多年草）

花壇のベースになる常緑のグリーン。この植物によって花壇の緑の骨格やボリュームが成り立ち、冬の寒々しい景色をカバーするコンセプトに合った緑を選択することにより、花壇のベースが形成されます。

ベースフラワー（低木、多年草、1.2年草）

花壇の主役の花で、花壇のベースグリーンをバックに咲く。コンセプトに合った植物の種類を選択し、花の咲く時期の分かる1年間の花カレンダーを作成し、植物を決めていきます。

サイドフラワー（多年草、1.2年草）

季節により、ベースフラワーの花のない時期に花壇の華やかさを絶やさないう演出。またベースフラワーと共に咲くときは、ベースフラワーを引き立てる役目やそれとの相性を考え、種類を選ぶ。ベースフラワーの様に固定ではなく他の物に替わる事もあります。

グランドカバー（常緑、葉の大きさが小さく、土の上を匍匐し、土の表面を覆うもの）

花壇の縁石の内側の周辺地面の乾燥防止を兼ねて土のままではなく、常緑の緑で覆う事により花壇を引き立て、絵画の額縁になり緑の絨毯的な役目もする。またその縁石は訪れた人が花壇の植物に遠慮しないで、ベンチ代わりに座れる為でもある。季節により花の咲くものもあります。このグランドカバーのスペースがある事で、花を植え込むスペースが少なくなり、花の維持費も少なくて済みます。

大濠公園ガーデニングクラブ

次回は大濠公園ガーデニングクラブの実際の花壇の花の種類を紹介します。

今回は、たくさんの多肉たちをまずは見て頂き、この中から3つを選んで植え込みをしました。
多肉植物の基本情報から年間管理方法、多肉の属による違い、寄せ植えならではの管理注意点…etc…時間ギリギリまで、お伝えする事が出来たかなと思います。
多肉植物の寄せ植え講座は出来たその日が完成品……ではなく
ふいに咲いてくれる可愛いお花！
秋から冬の美しい紅葉！
次々出てくるベビー(子株)たち！



四季を通して皆さんと長くお友達になってくれる植物です。
園芸がはじめての方もどうぞこの講座を機会に多肉たちの可愛いらしい育ちを、たくさん見て楽しんで下さいね。

緑のコーディネーター
渡辺しおみさん

報告

4月9日(火)
13:30~15:00
有田公民館
参加費/1000円 20名

一人一花スプリングフェス 2024

フェスの開催を控えふれあい広場では、会場を彩る花装飾の準備がなされました。

身近な物に花を活ける

ペットボトルハンギングバスケット講座

初めての経験でしたが、楽しい時間を過ごせました。
講座で自分達が作ったバスケット作品を会場に飾りました。
たくさんの人達に愛でられて、もっと綺麗に変身するのが楽しみです。

緑のコーディネーター
田中寿光さん



緑のコーディネーターと参加者の皆さんで作られたペットボトルハンギングが訪れた人びとをお出迎え。

ミニチュアガーデン

講座の修了生で

フラワータワーの植え付け



一人一花スプリングフェスの会場を彩るフラワータワー。この花壇は、石原和幸氏監修のもと土台作成と樹木の植え込みが終わった花壇に「ミニチュアガーデン講座」の修了生14名が花苗を植え付けました。



*福岡市植物園で実施している世界的ガーデナー石原和幸氏より直接学べるガーデン講座。

募集

花ボランティア募集

活動場所/春日公園内ハーブ花壇ほか
A定例日/第4火曜日 午前10時~正午
B定例日/第2木曜日 午前10時~正午
各定例作業はグループ体制で活動中

花・緑サポート隊「みなみ風」米倉治美

お問合せ・お申込み

(公財)福岡市緑のまちづくり協会
みどり課企画推進係まで

募集

一人一花 園芸ボランティア養成講座(全2回)

初めての方にも優しくわかりやすい講座です。花ボランティアにチャレンジしてみませんか?

第1回/令和6年5月22日(水)午前10時~正午

第2回/令和6年6月26日(水)午前10時~正午

開催地/城南市民センター実習室およびボランティア花壇
料 金/無料

お申込み方法

メールまたは、はがきに住所、氏名(ふりがな)、電話番号、講座名をご記入のうえ、同協会へ。

ホームページから申し込みも可。お電話での受付はできません。

※応募者多数の場合は抽選となります。

◆募集期間/令和6年5月10日(金)必着

◆メール/koza@midorimachi.jp

◆はがき/〒810-0033

福岡市中央区小笹5丁目1番1号

福岡市植物園緑の情報館内

(公財)福岡市緑のまちづくり協会

みどり課企画推進係

◆ホームページ/右記からお申込みください。



協会からの
お知らせです



グリーンノートは『隔月刊版(偶数月)』に変わります。

NEW

『Web』で最新の情報をお伝えしていきます!

活動されている方の情報、講座や会員募集などの案内、福岡市や当協会からのお知らせを迅速に皆さまにお伝えするため、令和6年5月からWEBを活用してまいります。

そのため、これまで毎月発行してきた「グリーンノート」は隔月刊(偶数月)に変わります。

次号は令和6年6・7月号(令和6年6月20日発行予定)です。

これまで以上に充実した情報発信に努めます。これからもご愛読よろしくお願いします!

今日の 森 mori hana 花



緑のコーディネーター

西川京子さんちのバニーテイル

花づくり団体「野間大池公園花学校」代表深川さんからいただいたバニーテイル・ストロベリーキャンドルの種が元気に育ちました！



長尾五丁目自治会

花づくり団体「野間大池公園花学校」代表深川さんからいただいたポリジの苗が元気に成長し、花を咲かせてくれました！

坂森 恵さん

城南区のお友達の丹精したシクラメンをご紹介します。

ガーデンシクラメンは外で育てる。液肥は2週間に一回与えるだけです。花殻はこまめに取る。簡単で手が掛かりません。



カエデ会

クリスマスローズ、ローダンセマム、ピオラ、シクラメン、チューリップの花が満開です。Welcome gardenに相応しく来園者の方々に楽しんでもらっています。



石井康子さん、岩元敬子さん、木村愛さん

動物園入口のプランター。華やかなハンギングスタンドでお出迎え。ゴリラのフィギアで来園者の期待が高まります。



アンケートにご協力をお願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにてご応募ください。

①住所・氏名・年齢・電話番号②良かったページ③本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を郵送またはメールにて提出してください。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
福岡市中央区小笹5丁目1番1号
福岡市植物園 緑の情報館内

✉ ks@midorimachi.jp

☎ 092-260-8816

☎ 090-8463-9982

☎ 092-401-1384



ホームページ

グリーンノートは編集から構成デザインまで、福岡市緑のまちづくり協会職員が制作しています。